

平成26年度第2回三重県河川整備計画流域委員会 議事要旨

日時:平成27年3月27日(金)13:30~16:00

場所:三重県勤労者福祉会館6階研修室

1. 開会

2. 挨拶

3. 議題

(1)二級河川志登茂川水系河川整備計画策定に向けて

志登茂川水系河川整備計画(原案)を提示し、主に次のような意見をいただいた。

- ・河口での河道掘削を行うことから、今後の関係機関協議では、漁業関係部局とも協議をしてほしい。
- ・本整備計画では河道掘削が多いので、河床が改変され生物への影響が懸念される。工事後の生物の回復状況を把握するため、工事前後で調査を行い比較検証してほしい。調査については、水辺の国勢調査だけで生物を把握するのではなく、県独自の調査を行うことが望ましい。
- ・公共事業再評価の際は、治水効果だけに主眼を置くのではなく、環境についても検討してほしい。
- ・H16年豪雨での整備計画実施後の効果検証は、河川における整備に加え、内水の影響を考慮した方がより現実的である。
- ・河道掘削での河床横断形状は、直線的ではなく変化をつける等、生物に配慮した形状とするのが望ましい。

(2)二級河川堀切川水系河川整備計画策定に向けて

堀切川水系河川整備計画(原案)の概要を説明し、主に次のような意見をいただいた。

- ・分水路の設置は将来になるが、用地確保困難などが懸念されるため、整備計画と平行しながら、施工について関係機関と協議を進めるべきである。
- ・分水路の建設に際しては、堀切川下流域の住民からすれば、余分に洪水が来ることとなるので、住民から反対意見が出ないよう地元と丁寧調整を図る必要がある。
- ・大規模な河道掘削を伴う計画となっていることから、環境への影響を配慮して対策を行ってほしい。
- ・分水路の整備は、下流の整備後に行う等、順序立てて進めることが重要である。

4. 閉会